

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-63）、MOX燃料加工施設（1-62）」

2. 日時：令和3年9月8日（水） 13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職

日本原燃(株) 再処理事業部部長 他13名

東京電力ホールディングス(株) サイクル技術グループ  
グループマネージャー

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー

中部電力(株) 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

四国電力(株) 原子力部 燃料技術グループ 担当

北陸電力(株) 原子力部原子燃料技術チーム 副課長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)
- ・ 令和 3 年 8 月 31 日  
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ロッカーを開始しました。それではお願いします。
0:00:05	規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:12	本日のヒアリングは例は2年12月24日に申請があった設工認申請について、
0:00:18	8月31日に提出がだしをもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:24	まず規制庁側からの出席者をします。
0:00:27	本町買わなかったらご示唆くキシノカミデ
0:00:34	WEBからの参加がツガネハバサキ、モリノタケダになります。
0:00:40	それでは日本原燃から出席者の紹介と議題の構成、説明範囲と達成目標について説明をお願いします。
0:00:50	日本原燃の藤野です。日本原燃側の参加者ですとか、再処理事業部の方からナガサワ、タカハシフジノMOXのほうからタカマツタニグチとか、それから耐震関係でトガシウラバヤシ、スガワラの上、
0:01:05	キョウダ、スギタホシノ異常が参加者となります。
0:01:10	本日の説明ですが、今の画面共有させていただいています。耐震建物21番、09番10番、十一番、15番16番17番、こちらのほうを説明させていただくということとあわせております。
0:01:26	それでは新建物21番のほうから説明に入りたいと思います。
0:01:37	規制庁、川に僕はそれでははいかしなければ21のほうから説明のほうをお願いします。
0:01:43	はい。日本原燃のスガワラです。
0:01:47	耐震建物21につきましては、前回コメントいただいたキリンからの変更項目についての記載を充実したものとなっておりますのでそちらのほうの充実した部分の内容について確認いただければと考えております。よろしくお願いたします。
0:02:10	はい、ありがとうございます。それでは耐震建物21につきまして、規制庁側から確認事項がありましたらお願いいたします。
0:02:22	規制庁カミデです。まずこの資料のちょっと全体的な構成で確認をしたいんですけど、2ページの目次にあるようにですね、2ポツが
0:02:38	変更点の話になっていて、
0:02:41	3ポツは、なんていうか安全機能の説明みたいな形になっていてですね、資料の目的として何を説明したいのか、出ずそのためにどういう構成をするべきか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ということをちょっと考えたほうがいいんじゃないかと思ってるんですけど、この辺り
0:03:02	別紙シリーズとかでも何を補足説明で残すのかという話をしていると思うんですけど、その点、何か考えていることがあるのか、説明いただけますか。
0:03:29	少々お待ちください。
0:04:00	日本原燃のスガワラです。
0:04:03	こちらのましよう構成としまして、2 ポツでその変更点というところを記載をしているんですけども、今回の資料 4 を区域として、こちらの判読はそうですね Sクラスということで今回、
0:04:23	今回から変更しておりますので、そういう意味では 3 ポツも含めて、変更点というところの閉等説明をするというのを、この資料の目的ということで考えておりました。
0:04:44	規制庁カミデです。
0:04:49	何かこじつけのような回答に聞こえてしまうんですけど、じゃあ、この 3 ポツの中でどこが変更点なのかっていうのが今具体的に読めるようになってますか。
0:05:10	日本原燃の通してございます。今おっしゃる通りのところでこの 3 ポツっていったところに関しては重要区域っていったところで先ほど大阪からあった部分の金庫にはなかったところで新しく今回の新規制基準のところの段階で設定された項目といったところがございますしてその内容
0:05:30	ある意味エリア含めて書き下しているといったところがこちらのほうの 3 ポツの主旨として記載している事項ですので、そのビフォーアフターでいくと当然二つしかないといったところが、今の図書の位置付けだというふうに思っております。
0:05:52	規制庁カミデです。そうすると、2 ポツにこのきっかけがあって 3 ポツがその具の中身ってということなんですけど、2 ポツの繋がりの部分は今どうなってます。
0:06:16	日本原燃のスガワラです。そういった意味ですと確かにポツからその何か繋がるような部分がちょっと見えませんので、ちょっとその部分が繋がるようにですね
0:06:32	検討が必要かなというふうに思います。
0:06:37	規制庁カミデです。似たような変更点ものとしては耐震き電 13 と変わってますね、そちらは構成としては 1 ポツ 2 ポツであって、変更の具体は、2 ポツに書いてあったり、あとは適宜別紙に飛ばしたりとかしているんで、その辺りの
0:06:59	構成を調整いただいてですね、ブラッシュアップをしないといけないかなと思ってるんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:08	今のところをどうされますか 3 ポツをある程度 2 ポツに組み込んで説明し切る、あとはこういう内容は別紙でみたいな考えがあれば、説明を考えを聞かせていただきたいんですけど。
0:07:27	そう。
0:07:38	答える。
0:07:44	はい。
0:07:46	日本でトガシでございます。今ほど神谷さんからあったところでやはり変更の概要っていったところがこちらの資料の趣旨になってございますので、既工認から変更した箇所といったところで重要区域に関しても新しく付け加わってるところでございますので、そちらのほうのない
0:08:06	表に重要区域といったところが新しく設定されているってところ 2 ポツの中で展開していくような形で今 3 ポツに書いてある部分の
0:08:17	内容に関しては少しペーシの位置付けのところ、この事業区域の補足説明みたいな形のほうで付け加えるような形がいいのかなっていうふうに今思っているところでした。
0:08:33	はい、規制庁カミデです。そうするとき 2 ポツにどこまで書くかって言う程度感を合わせて欲しくてですね、例えば
0:08:44	5 ページとか、
0:08:48	8 ページとか 2 をまずを使って説明したりしているところもあるのでこの程度をわかるように本文側で記載してあとは別紙 2 という話を耐震起電前
0:09:03	起電 13 の方とも見ながらですね、説明の仕方とかそういったところも含めて
0:09:12	並びをとってですね、資料をつくっていただければと思いますのでよろしく願いします。
0:09:21	はい。日本連動してございますちょっと綺麗側の、そちらの今の図書の構成も踏まえた上で記載程度ってところが図書館ずれがあまり入れないような形の方で調整して対応していきたいというふうに思います。
0:09:39	はい、規制庁カミデです。
0:09:42	あとですね、ちょっと中身の話なんですけど、30 ページのところなんですけど、
0:09:52	なお書きのところ直下地盤を考慮したって追記があるんですけど、今回この直下地盤についても機構にかわるの変更点 0d 会合でもやりとりしてると思っていますので、
0:10:08	ちょっとどういう地盤についてどういう変更したかっていうのが、説明がほとんどなくてですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:14	前はこういう考えで設定したけど今回はこういう考えになったとか、あとは物性値の変わりようだとかですね、そういうところを変更点として挙げて図書の中で説明いただきたいんですけどそれは、
0:10:31	よろしいですかね。
0:10:35	はい、日本原燃通してございます。ちょっと今カミデさんのおっしゃられた趣旨のところですねちょっと私どもとして 38 ページのところ、燃料加工建屋の地盤モデルといったところの項目をさせていただきます、既認可においては平均的な部分、地盤物性を設定していた、それに対して今回設工認においては、
0:10:55	直下の調査結果に基づいた物性値を設定したといったところで、こちらの中でですね変更前後ですねちょっと示すようにしてございました先ほどのですね記載に関しましては、どちらかといいますと、こういう 1 解析結果のほうで若干
0:11:12	パネルの部分がございましてそちらのほうはご一任変動する部分としてございましたので、その部分のつなぎとして、これしかし結果においてもその地盤の物性の変更によって多少バネが変動しちゃっていたところを付け加えたという意味で記載している文章にしておりました。そういったところでいきますと、
0:11:31	現状の部分の 38 ページのような記載程度で今、当社としては考えておりますけども、こちらの方はもう少し拡充したほうが、
0:11:41	よろしいというようなイメージでしょうか。
0:11:44	はい、規制庁カミデですと会合で説明あったように、あのボーリングの位置をここへ以前は個々のものを使ってましたので今回はこういうふうになりましたたとか具体の物性値もう
0:11:59	どこまで書くかはあれですけど具体的にちょっと示していただいてというふうに変わったのかっていうところを残していただきたいと思います。
0:12:11	はい。4 円投資してございます。時詳細な多分地盤モデル設定の部分は違う一番までの補足説明資料のほうで出ていく内容かというふうになってございますのでそちらのほうとあまり深みが
0:12:24	違わない深みやこちらのほうが浅いと思いますのでそちらのほうの使いようがわかるような形のほうでも少し肉づけをさせていただきたいというふうに思います。
0:12:37	はい、規制庁込みです。
0:12:39	わかりました。
0:12:40	ほか規制庁わから中身的な部分で何か確認ありますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:47	規制庁ハバサキですが、今のお話にちょっと関連するんですけども、38 ページ側面地盤ばねの特性が今回入ってますので、今回側面地盤ばね、埋め込み効果を考慮する。
0:13:03	ことに変更になってるってことなんですが、直下地盤モデルですと造成モリノ分は取り除くという。
0:13:11	全停といいますか方針になったというふうに思いますので、今この資料見ると、その話がなくて、31 ページのモデル図を見ると地表面から招かないねっていうモデルなんですね。ですから、ちょっとその辺はやはり 38 ページなりですね。
0:13:30	のか説明をしておいたほうが良いというふうに考えるんですが、いかがでしょうか。
0:13:37	日本原燃富樫でございます地盤の今日の資料にもあります地盤のひずみのところでその部分の見解というところを記載しているところでございますけども、こちらのほうの資料でもその位置付けっていったところがわかるような形のほうで注記何かちょっと明記するような形で対応させていただきます。
0:13:57	規制庁ハバサキですね、対応のほうお願いしたいと思います。それとあと 2 点ほどちょっと内容についての確認もあります 39 ページのところまで前回指摘で静的地震力についても、来今度の比較という形で、今回それを指摘したことに対する対応をしてもらってます。
0:14:15	理解してますので、ちょっとここで確認したいんですが、表の 2-3 のところで、振動特性係数の Rt の今回の設工認のところですね、SD の審議会の三つの波は 0.8 明処理が言われて 8 名。
0:14:32	いう表記なんですが、これちょっと意味を説明してもらえますでしょうか。
0:14:39	オイカワ日本原燃のスガワラです。こちらの意味としましては、RT を算定する際に地盤のかたさに応じて算定をしてるんですけども、その算定をする際のもとなる地盤モデル、
0:14:58	につきましては、波ごとにですねひずみ依存の物性でモデルがございまして、それぞれのモデルに対して算定をしたところですね若干変動がございましてこちらの SD 産廃については、
0:15:16	0.88 名それ以外の波には 0.87 平米というところになったというところをちょっと細かいんですけども書かせていただきました。
0:15:26	来ちゃ技術分数は後、もともと理解していると思うんですけども、実際、静的賃料を算定する際に、例えばでき 8 なおも使ってるってことですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:42	日本原燃スガワラです。はい、おっしゃる通り使っております、最終的にその層ごとの静的地震力を算定する際にですね等を各波で各波ごとのそのRTを使って地震力を
0:16:01	そうごとに実際は出しております、そん中で一番大きいものを営業ごとに選んで最終的に使う静的地震力というふうにしております。
0:16:15	規制庁ハバサキです。あれということはわかったんですが、最終的に静的地震力として静的地震力自体は石油地震力である程度静的地震力としては一本化される最大の値、地震になると思うんですけれども、
0:16:35	そのプロセスの説明は変わるんですけれども、
0:16:39	ここにその地域明記されてるっていうのがですね、ちょっと意味がわからなかったんですけれども今のようなプロセスはされているということをここでは説明したかったという趣旨ですか。
0:16:57	日本原燃スガワラです。はい実情としてます。最終的には一つのその静的地震力という形ではまとめてはいるんですけれども、その下位フロアによってですね。うん。トナミでマックスが決まっているというのがちょっと変わってる。
0:17:13	実量をでしたのでまあ正確に記載するとこういう書き分けが必要かなというふうに入り考えました。
0:17:22	以上が一つお借りましてこれ別にしなくちゃいけないっていうのは別にどこにも書いてないんです、もう言い方あると思いますが、SAで決めるとかですね代表的な波で決めるということはあるんですがそうしたらですねちょっと
0:17:39	その振動特性係数のRtのその複数建屋での決め方っていうことはどっかにやはり注記なりですね説明をしてもらいたいというふうに思うんですが、
0:17:49	それは可能ですか。
0:17:53	日本原燃、スガワラです。はい。そうですね今ほど申し上げたような考え方のところでですね注記なりをつけることで検討させていただきます。
0:18:06	景気は技術先行を十分ではですね、例えばSAの広域から堰人力決めるとかですね、そういう説明はありますので、ちょっと燃料加工建屋の場合はこうやっているっていう形で基準をお願いしたいと思います。
0:18:21	それともう1点確認事項、今の表現を一番上の基準も出せませんものです。はい、すいません、規制庁紙S波の先ほどのところも少しお伺いしたいんですけど。
0:18:33	静的地震力の出し方が
0:18:37	何かちょっと通常と違うように聞こえたんですけど、そのあたり基本設計方針とかでどういうふうに書いているかっていう教えていただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:55	日本原燃のスガワラです。基本設計方針のほうでは静的地震力の算定式ですね逆に書いてあるような式を乗せた上で、
0:19:12	RTについてもその中で記載がございます。先ほど説明した込ま鍵算定方法というところについては迷うには書いてはいないんですけども、
0:19:28	基本的には静的地震力としてのその算定方法としては特段変わったことをしているというつもりではございます。
0:19:39	すいませんちょっと具体用母の規模防止の資料でちょっとお見せできないのはあれなんですけれども、今考えとしてはそのような考えでございます。
0:19:51	規制庁カミデです。具体的に展開してるのってどの資料でしたっけ、応答解析の基本方針でしたっけ。
0:19:59	ピーエイ等、日本原電スガワラです機能維持の基本方針のところ、静的地震力の賛成をこのページがでございます。
0:20:11	あとそこからおりてきてあと計算書のほうに展開してるというところでございます。
0:20:17	規制庁カミデですがありましたので、その考え方っていうのはいつから再処理と共通ですか。
0:20:25	はい。日本原電スガワラですはい共通です。
0:20:31	はい、規制庁カミデです。わかりましたちょっと今すぐ資料が出ないのでちょっと空中戦で話をしてもあれですけど
0:20:39	おそらく今月また機能維持の方針もヒアリングがあると思うので、その際にしっかり説明できるように整理をしておいてください。
0:20:53	日本エヌスガワラエス 1 承知いたしました。
0:20:58	規制庁ハバサキです
0:21:01	基本方針のところどこまで書いてここに理事長の資料にどこまで書くという仕分けもあるんですけども、再提案をやはり等に十一番の資料についてはですね、先ほど申しました。こちらの
0:21:17	もう燃料加工建屋での統合振動特性係数の決め方、それについては、やはり説明をお願いします。
0:21:25	引き続き同じ表の一番上のところですのでこれも記載だけの話というのはそうなんですけども、隻地震力を設定する基準面として今回議決公民が当時両面系相当って表現になってます。
0:21:42	基本的にこれ地表面ロス等TMSL55 メーター版だということで、
0:21:50	実際 56.81 階の 1 年 1000 レベルですね行かれるわけですよ。だから、そっか、基準面、あくまでも設計用地震力、静的地震力を酸欠する上でこう考えますっていう基準面の話なんで。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:09	ここは地表面ではなくて、1階床レベル、
0:22:13	相当ってというような表記のほうがいいかなというふうに思うんですが、何かあえて地表面相当って書いてある理由があれば説明してください。
0:22:25	平均余命そのままです。あえて指標面を表現しないというところもございませんでしたので、1回想定1回位の高さということで修正させていただきたいと思えます。
0:22:40	規制庁の岡崎です。あくまでもこう考えるというレベルですので、1階床レベルの方が適切かなというふうに思いますので、時33のほうでちょっとその検討のほう適正化のほうしてもらいたいと思います。
0:22:57	私のほうからはこの心配です。
0:23:07	規制庁の武田です。
0:23:09	同じく表の2-3なんですけれど、高さ方向の分布係数AIIについてモーダルアナリシスということなんですけれど。
0:23:19	これも地震とかが変われば地盤のひずみが変わってばねとかも変わって集金も変わるということで、キシノ数だけバラバラに出てくると思うんですけれど、これも各層ごとに大きくなるように、最大のとっているという理解でよろしいんでしょうか。
0:23:39	日本原燃スガワラです。こちらにつきましても実際波ごとによって変わってくるのでございますので、それぞれ算定した算定していますので、最終的にお静的地震力に
0:23:58	まとめる際に、そのフロアごとにですね、大きいものを選んでいくという考えでございませぬ。
0:24:08	規制庁タケダです。わかりました。RTDと同じような考え方かと思えますので、これも同様に集100集約等で記載をいただければと思います。
0:24:21	はい、日本原燃スガワラです。初期いたしました。
0:24:27	成長タケダです。その他慶弔側からございませぬでしょうか。
0:24:33	規制庁カミデです。中身についてはなくて全体の資料の構成なんですけど
0:24:41	今回この資料はもう複数の建屋として補足説明後、
0:24:47	出てきていてですね、この他の工事会を含めて補足説明をどう出していかっというところなんですけど、その再処理側の建物の補足説明変更点の補足説明はどうするのかとか、
0:25:04	MOX側の機器配管系の補足説明はどうするのかとかその辺りは今まさに別紙3とかで整理されているところだと思いますけど、整理状況をお聞かせいただければと思うんですけど、いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:51	日本原燃のスガワラです。建物の部分としましては再処理側も今後沢山出ていきますので、切り替わる変更点という補足として、
0:26:08	説明をしていくことで整理はしております。
0:26:15	規制庁込みです気にしているのは、今耐震建物 21 の中に含めるのであれば、この資料のタイトルですとか、目次とは変わった状態で次お出しただかないといけないなと思ってまして、そういうところ。
0:26:34	お聞きしてるんですけど、その点いかがですか。
0:26:46	はい、日本原電スガワラベースは
0:26:50	すいませんその資料もこの資料につきましてはも苦痛を用の資料として考えておりましたのでこの資料をどんどん拡充してというふうにはさてもとしてはですね考えておりませんでした。
0:27:10	規制庁カミデです。
0:27:13	本来今進んでいる段階だと建物はこういうところに示すことにしてそれは来週脱塩見てくださってという話にならないと進捗、
0:27:29	的にはおかしいんじゃないかなとは思いますが、とりあえずこの資料は単独でということで、そういう後から再処理の統合予定してないということなのでそこはまずはわかりました。はい。以上です。
0:27:50	。
0:27:52	ほかトガシにつきます。規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:28:01	よろしいでしょうか。それでは日本原燃の方から資料についての修正方針等、あとは真っ赤事情も発言がなかったか確認をお願いします。
0:28:15	日本原燃のスガワラです。
0:28:18	ご指摘いただきました。そもそもの方向性として全体ですね、まず変更点というところを最初に述べてその詳細のところはべしシートもそれなりというところのまず構成についての御指摘をいただきましたので、
0:28:38	こちらを検討させていただきたいと思います。それから今回記載をした変更点の中で、
0:28:49	直下地盤に関する記載をもう少し充実というところを等あとは側面ばねについても記載の充実をしていきます。それからの静的地震力の
0:29:07	出す過程につきましても、もう少し気体の方ですね、充実させていただきたいと考えております。
0:29:15	それからあと、補足説明資料としての
0:29:21	今後の展開につきましては基本方針、べし側の別紙ツリー図のほうとの整理も含めて今後対応して参ります。あと最後にマスキングの部分につきましては特に発言はございません。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:02	規制庁タケダです。
0:30:04	ありがとうございました。続きまして、耐震建物 09 の確認に進みたいと思います。
0:30:11	耐震建物で提供についての原燃の方から補足で説明する内容がありましたらお願いいたします。
0:30:20	日本原燃キョウダでございます。こちらの耐震建物 09 の資料につきましてはないように自体につきましては前回コメントをとすることはなかったんですが、概要の共通部分の記載についてですね、他資料と資料とあわせまして、記載のほう修正させていただきましたので、再掲したという形で提出させていただきました以上になります。
0:30:42	はい。
0:30:44	規制庁の武田です。ありがとうございます。それでは、
0:30:48	本震につきまして規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:31:07	よろしいですかじゃ規制庁ハバサキです。
0:31:11	ですね。
0:31:19	と上からの指摘がすいません。
0:31:23	ちょっと私のほうで気になりました。すいません。
0:31:28	ちょっと撤回します。すいません。
0:31:32	規制庁カミデです。本町 5 これは特にはないんですけど、タケダ損とはよろしいですか。
0:31:40	タケダの特にこの資料については確認ございません。
0:31:46	はい。規制庁込みですのあまり内容的な直しが無いものなので、特段今コメント等はなくてですね、引き続き何コマ今後も確認して何かあれば、お伝えしたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。
0:32:14	それでは耐震建物 09 については以上とさせていただきます。
0:32:20	それでは次の資料の耐震建物の 10 番ですね、こちらの確認のほうに進みたいと思います。
0:32:27	この資料について日本原燃のほうから説明ありましたらお願いします。
0:32:33	日本原燃のイノウエですね耐震建物 10 につきましては、前回 6 月 30 日のヒアリングでいただいたコメントを反映しええか反映させていただき、あと地盤を直下に変えましたので、冷却塔及び燃料加工建屋の解析提示解析的事項に関する内容に
0:32:53	いて、差し替えさせていただいたものになっております。こちらからの説明は以上になります。よろしくお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:01	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料につきまして確認事項がありましたらお願いいたします。
0:33:11	規制庁カミデです。この資料についてはまず再処理は5%で、燃料加工建屋を3%で行きますっていうのはそのその違いをどう説明するかっていうのがまず一つあるんですけど。
0:33:27	中で聞いていたのが、燃料加工建屋って何で3%にしたんですかっていう話なんですけど、その回答が主に記載されていなくて、
0:33:41	例えば4ページの真ん中また書きぐらいたと
0:33:48	発電炉の審査実績を考慮してとだけ書いてあって、結局何を考えて何のために3%にしたのかっていうのがよくわからないんですけど、その辺りもう一度説明いただけますか。
0:34:02	日本原燃のイノウエですね今ほど上出さんからおっしゃったところについて、前回も同様の前々回からご指摘いただいたんですけども、それについてshallと4ページの中ほどのところの
0:34:20	先行炉の審査実績を踏襲して3%として、
0:34:28	今そういうところ。
0:34:31	角形でして、
0:34:34	応募なんでそうしたのかっていうところの経緯とかそこら辺のところをちょっと今、負えなくなっている状況で結果としてこう3%で前やっていたっていうところが残ってるので今回、
0:34:55	4ページのこの記載だけにさせていただいてるところになってます。
0:35:00	夢のウラバヤシでございます。若干補足させていただきます。今終えているところで主でございますが、来つつ公認当時の発電の安全審査というところが、これが大間の審査のところにございまして、
0:35:18	当時、主の棒でRC減衰3%ではないかというのが議論されていたというところ所状況を踏まえて、当時は当時の判断で3%。
0:35:30	としたものでございますので、今回の設工認に当たりましては、当時建設時の兄弟の踏襲して今回も3%とさせていただいたっていうのが事実関係でございます。
0:35:46	規制庁カミデです
0:35:50	そう。
0:35:52	何ていうかその程度で、3/よくわからないんだけど3%にしますって言われると、もうこの設計認められないので考え直してくださいという話になりますので、
0:36:06	改めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:08	説明を今、
0:36:10	Cすかどうしますか。
0:36:20	はい日本エヌトガシてございます。経緯としては今ウラバヤシの申し上げたところでキリンカーのところで3%といったところが用いていたといったところございます。今回こちらのほうの新規性基準において設計するに当たって
0:36:37	やはり部長のRCPBの減衰としては5%といったところが一般的なものといったところでは、当社としては考えているところではございましたけども5%等3%といったところが考えた際に、やはり民間の方で低い減衰もを用いているといったところで、
0:36:56	多少ないしはやはり応答がほとんど結果は変わらないんですけども、大きな差異はないんですけども3%で設計をしているといったところがございましたのでそちらのほうの5%と3%といった際の元帥の
0:37:12	多少関係で見たときにですね3%の方が部長のほうの施設としては目的設定してるといったところもございましたので、今回の新規基準においても当初の考え方を用いて3%を用いたといったところが
0:37:27	ちょっと私どもとしての正直なところでございます。
0:37:35	規制庁カミデですをまず5%が一般的っていうところがちょっと認識が異なっている気がして
0:37:45	原子力業界というんですかね。そんJRIに基づく人達は／が主役に書いてあるからみたいな話かもしれないんですけど、その一般広く建築っていう意味だと。
0:38:00	3%というのが一般的で何で弱で／でいいのかっていう話を
0:38:10	実用炉とかとこういう理由で5%でいいんだっていう話を各サイトで話しているんだと思いますけど、その辺の認識はいかがですか。
0:38:32	日本原燃の井上です。今ほどのところなんですけれども、
0:38:39	車両に
0:38:41	約5／使い、
0:38:44	原子力施設で5%で
0:38:48	一般的な建築としては3%というところはあると思うんですけども、それについて当社のほうでは
0:38:57	燃料棒加工で建屋ではないんですけども分離建屋を代表とした
0:39:05	シミュレーション解析のほうを、61ページから示させていただいておまして、こちらについて曲げ整合パート観測記録のほうを比較した結果というところで、
0:39:19	概ね減衰5%の方が家族協力よりも

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:24	保守的というかも大きい値にはなっていると仮にこれを3%にすると、多分この赤の減衰5%の値よりも大きな値となって、
0:39:39	行くために我々としては減衰5%である程度保守性を化を考慮した上で、実現象もとらえられているということで5%が妥当であるというふうに
0:39:53	再処理全体としては考えているという整理になっています。以上になります。
0:39:59	規制庁カミデさんのまだ食い違ってるんですけど、じゃあジャパンは近づいてきているような気がして、なんて原子力施設で／って話なのかと。なんで5%なんですかってほかの斎藤でどう説明しているかっていうのを見てもらえばいいと思うんですけど。
0:40:18	やっぱり建物を計上ある程度決まってる相当見込みもあるので、その減衰もあるでしょうし、あとは観測記録との照合ができるって部分で5%の妥当性が説明できるんだということで、
0:40:33	そちらの言い方だと一般的な5%っていうのが使われてるんじゃないかと思えますんで、一方で、じゃあ大間はどうなんだっていうと、観測記録との照合って部分で、ほかの既設サイトと違う部分があって、
0:40:51	それで、3/なり、より広く使われている一般的な値っていうものを採用してるんじゃないかと推察はしていますので、
0:41:04	そういうことで、MOXのほうも、5%を証明するための
0:41:12	材料がすべてそろっていないので、3%と
0:41:16	いうことなのかなと思ってたんですけど、ちょっとそういうことなのかなのかの寄りつききちっと事実関係を確認してですね、改めて整理してなぜ3%なんだというところ
0:41:33	既工認で講師だから、なぜかわからないけど3%です。では話にならないので、しっかり考え直して説明いただきたいんですけど、よろしいですか。
0:41:52	日本原燃のイノウエですと承知はした持ち帰らせて3%の根拠について検討させていただきたいと思います。
0:42:06	はい。規制庁込みです食い違ってるのは基本5%って言っているのか、基本3%と思ってるかっていうところをなんじゃないかと思っていて、5%を適用するためにはものが必要なんだと。
0:42:23	いう検知に例えば説明できるんじゃないかと思えますけどその辺りを説明してくださいで、その上で、この燃料加工建屋だけではなくてですね、減水乗数再処理施設の
0:42:39	再処理MOX全般の減衰の考え方をきちっと体系整理いただきたいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:46	例えばですね、5%を適用するためには、埋め込みが10分あって、観測記録等を照合ができるということである5%をまず使っていいですねと。そうじゃない場合はどうするか、MOXの燃料加工建屋を散歩を使います。
0:43:04	一方で、冷却塔の基礎みたいなものも検証ができるかっていうのをきちんとできないと思うんですね、それで今回この資料にもありますけど、そういう場合は、来パート散歩を比較して5%でも大丈夫だということを示しますと、
0:43:22	いう体系で基礎みたいなものはさらにもう人検討加えて妥当性を説明するっていうことだと。
0:43:34	公務なので。そのあたり整理した上で全体体系を
0:43:39	全体体系を考え、考えをちゃんと整理してください。
0:43:50	EAMウラバヤシございます。はいや農協承知いたしましたそのえっとその上でなんですけれども、今例えばで出た歌で埋め込みがあってという。
0:44:03	d. ですが、当原子力で5/5%と言ってるのは、一般建物との違いってのは一番何かなんて言ったらSSっていうすごい大きな入力
0:44:14	非線形ファイルっていうところでまず5%で営農なんかでしたらその男性とか、あまり被水履歴減衰見たらのみと認められないような単純なものについては、
0:44:30	3%の影響検討みたいなものをやっていると、ちょっと承知してございます。そういった観点からのアプローチでもよろしゅうございますでしょうか。
0:44:40	はい、規制庁紙ベースを、そういったことも考えて確かに平成数とSDの違うやすい相当大きくて牽制が取れる男性だとかどうかっていうところは実際、確かにあると思いますので、その辺りの応答も踏まえた上で妥当性を
0:44:59	存じてもらうということが必要かと思っておりますので、そういった考え方でいいと思います。
0:45:07	はい、承知しました検討させていただきます。
0:45:10	規制庁コサクです。
0:45:14	何らか話をする項目は意識できたようではあるんですけど一方で、その上で、なんでMOXだけなんだっていうふうのが今回並べてみるとよくわからなくて、
0:45:28	再処理施設であれば現状もうたっていてっていうところで先ほどの記録が云々というのはあるんですけど、そうは言っても、先ほどの説明だと分離建屋を代表としてってるけど、本当にそれって代表なのかと。
0:45:45	いうことがあって他の建屋はじゃあいいのかっていう話を整理しないといけないと、
0:45:50	特にデータがない様の／緊対とかもあるわけで、
0:45:55	全体どう取り扱うんだっていうのは説明によってですね、再処理のほうも考えなきゃいけないということだと思えます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:46:04	ですね。
0:46:05	その辺りもよく考えて整理をして
0:46:09	方針を示していただければというふうに思います。
0:46:21	はい、ウラバヤシです。承知しました検討させていただきます。
0:46:35	抄タケダ、その他成長が行う確認ございますでしょうか。
0:46:45	規制庁ハバサキです。今の内容を踏まえてなんですけれども、減衰定数の妥当性を継承するために、いくつか検討する。先行と同様なことをされているということで、
0:47:01	例えば 43 ページかな、市のこれがひずみエネルギーの比率をそれぞれの要するに分けて時検討されてるわけなんですけれども今回この結果自体がですね 45 ページ。
0:47:17	47 ページに結果自体が今までの資料とかということでこれは基本的には直下地盤の地盤条件の違いによるものというふうにこちらは理解してるんですけれども、それでよろしいでしょうか。
0:47:34	日本原燃の井上です。認識で問題ございません。2 ページの目次のところで言いますと、4 ポツ 1 の地盤への逸散減衰の検討及び別紙 3 及び参考資料、こちらについての解析的事項が
0:47:52	直下に差し掛かったものでございます。以上になります。
0:47:58	定着部ずつその上でですけども、実際 43 ページから例えば 40.1 の検討が始まってるんですけども。
0:48:10	その地盤条件の話と、家畜条件についての説明がないので、
0:48:17	これは記載がもう少し等あったほうがいいといいますから記載する必要があるという考えですが、
0:48:25	それは拡充は可能でしょうか。
0:48:30	はい。日本原燃井上で承知しました
0:48:36	この 45 ページの結果を出す際の
0:48:42	条件、
0:48:43	について追記させていただきたいと思います。以上になります。
0:48:48	慎重派ばかりです。はい、記者の方でお願いしたいと思います。もうええと同様の趣旨のシミズレーション先ほどお話があってシミズについては 49 ページからマス分だけを対象としたこれについてもですね地盤上、
0:49:04	もう、特に記載がないというふうに理解してるんですけども、
0:49:08	実際はどんな地盤条件で解析されているんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:15	日本原燃のイノウエですね、今ほどハバサキさんからご指摘受けた内容についてなんですけれども、こちら分離建屋につきましては、地盤の条件としては
0:49:29	従来の中央地盤の平均地盤モデルとなっております。以上になります。
0:49:36	規制庁の金戸です。
0:49:39	規則の設置を決めるときの地震動は観測記録によるものですかそれとも
0:49:45	御説明か何かを使ってるんですか。
0:49:48	日本原燃のイノウエです観測記録を使ったものになっております。
0:49:53	以上です。ちょっとそういった情報も同じ記載がないかなというふうに思ってますので、もう少し拡充の方をしてもらいたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:50:04	日本原燃井上で承知いたしました。
0:50:09	沈着ですと、まず私のほうからは以上になります。
0:50:16	規制庁タケダです。その他耐震建物 10 について規制庁側から確認ございませんでしょうか。
0:50:28	規制庁カミデです。先ほど全体体系を本当について申請、工事課まで渡って見渡して全体整理してくださいっていう中には、別紙で何を示すべきかっていうところも含んでると思う。
0:50:46	考えていただいて、今の目次だと次回で何か情報を出すということを今考えてないようなんですけど、その整理に従えば、次回でこういうものが、
0:51:01	データは出さなきゃいけないとか、そういったことも考えてですね、整理をいただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:51:12	はい。日本原燃のイノウエで性承知しました
0:51:17	2 ページのちょっと目次のところで話させていただきますと、今の
0:51:25	我々の資料の考え方としては、
0:51:32	本文の 1 から 6 の内容については特に変更ございませんで、別紙 1 と別紙 2 の内容か建屋のひずみと、
0:51:44	あと、図面のところについて、次回には
0:51:49	建屋構築物のひずみなり図面なりがどんどん追記されていくということを想定しておりました。そちらについても時間的に。
0:52:00	牧さんの方さしていただきたいと思っております。以上になります。
0:52:07	はい、規制庁コンビS波の別紙 1 別紙 2 のひずみとか図面が追加されますよってということだけを明示するわけではなくて全体整理の中で、この別紙 3 とか、あと別紙 3 と 3 公衆の違いもよくわかんないですけど

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:23	そういったものでこの建屋の話をしておかなきゃいけないとか、いうことがあり得ると思いますので、その辺りも気をつけて整理をいただければと思います。
0:52:37	上イノウエ承知いたしました。
0:52:47	規制庁の武田です。その他この資料について確認事項ございますでしょうか。
0:52:54	規制庁ハバサキですね。よろしいですかそうしたらですね、次は 103 ページからこれ塩ビの基礎の下水道数をパラメーターとした。
0:53:08	時等の結果の比較ということで 109 ページから結果が出てますので、
0:53:15	ちょっと聞きたいのは今ここではタイトルの下にありますように、基礎スラブの減水乗数を変えてオートスペクトルを比較しているとスペクトルの味覚によります 5%。
0:53:34	時※前例 5 の鉄塔で泊してるんですけども、支店と 3 と 4 ですね、
0:53:43	労使研さんという依頼をしてんの。こういった比較の結果というものは、今ここでは本資料ではないんですけども。
0:53:56	そういったして作業 3 と 4 枚の近くの資料というのはどっかにあるんでしょうか。
0:54:08	日本語のイノウエです今程ハバサキさんからおっしゃられた内容についてなんですけれども、
0:54:16	全然前回か前々回かちょっと定かではないんですけども、当初
0:54:22	SRも載せておったんですけども今回はRC造部の話に限ったことであるので 1-1 と 2 は S4 をちょっとコメントいただきましてその結果 34 だけ示しているという状況なんですけれども、
0:54:41	規制庁ハバサキですちょっと損前々回か何かコメントしたのは多分ですね、減衰 5% のスペクトルっていうのは、基礎版にしか影響しない話なんで書くならキトー一晚基礎上と下の支点だけですねという話になりますので、
0:55:00	要は一番と 2 番の知ってんのセットを書くんでしたら上部架構の無罪鉄骨の減水乗数のスペクトルを書くべきじゃないですかっていう話をしてこちらから出した覚えがあります。
0:55:15	で、要は鉄塔基礎版の減衰が 3% と 5% のときに位置というの比較で、それで時の減衰乗数は鉄骨部材の減衰定数のスペクトルの比較。
0:55:31	というものはどっかにないですかという趣旨なんですけど、
0:55:37	日本のイノウエです趣旨理解いたしました。
0:55:42	であれば出力の方はしてありますので、両者の差異を 1.1 に鉄骨部材の減衰定数でスペクトル書いたものを設置させていただきたいと思います。以上になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:57	はい、地域ハバサキケース先ほどお話にあったように、減水乗数を5%取れる条件としては、逸散減衰が
0:56:08	要は人面積が大きいとか、地盤がやわらかいとか埋め込みがあるとか、或いは構造物が塑性担ぐ等の条件がかみ合って5%というものが認められた経緯があります。今回のように一晩でそのような単純な構造物であり、そんなに面積も大きくない。
0:56:26	弾性解の応答をするようなものであっても、上部架構の特に機器の設計に用いるスペクトルに対しても、本当にどうも前があるかどうかということは、今申した応答スペクトルの比較でわかる話の雨
0:56:43	その資料のほう、説明のほうをお願いしたいと思います。
0:56:46	以上です。
0:56:49	日本海において承知いたしました。
0:56:56	規制庁タケダです。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:57:05	よろしいでしょうか、よろしければ、電源のほうから、この資料についての修正更新統会計情報の発言がなかったか確認をお願いいたします。
0:57:19	日本原燃の上です修正方針としましてはまず燃料加工建屋だけが3%ということに対して、再処理全体を含めた減衰定数に関する考え方一般的な減衰は何何としてとかそういうこと。
0:57:37	考え方について、もう少し検討を進めるということとあと
0:57:45	ひずみエネルギーの所等シミュレーションについて、地盤の条件、今修正の設置だ際の入力度について記載をすること。あと冷却塔の減衰3%。
0:58:00	セントで解析をしているところについて、上部構造のところの元帥もその上部構造の減衰定数でスペクトルを書くこと後を最終的な次回のときにはどのような資料構成になるのかということを追記すること以上になります。
0:58:20	また非開示情報についての発言はございませんでした。以上になります。
0:58:29	規制庁カミデです。最初に言われた前提の考え方の整理ですけど、
0:58:37	何度も会合でも伝えてますけど、元の設計ありきっていうのがやっぱり出発点にありすぎなんだとっていて、ゼロベースで考えて本来どうあるべきかっていうところからちゃんと考えていただくと。
0:58:52	まことにたどり着くんじゃないかなと思いますので、
0:58:57	今の回答を聞いても何か。
0:59:00	もう、もとの節項にありきなんだみたいなのが何となく聞こえてきてしまったので、気をつけて再整理いただければと思いますので、よろしくをお願いします。
0:59:12	日本原燃イノウエである電源もイノウエで承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:22	規制庁の武田です。それでは次の日の括弧に進みます。次の資料が耐震建物の 11 ですね、この資料について日本原燃の方から補足で説明する内容がありましたらお願いします。
0:59:38	日本原燃キョウダでございます。こちらの耐震建物の 11 の資料についてですか、こちらは地盤モデルを変更したことにより解析結果の差し替えを行っております。また前回いただいたコメントの反映といったところを下線部で示しております。以上になります。よろしくお願いいたします。
0:59:58	規制庁の武田です。ありがとうございます。それではこの資料について規制庁側から確認がありましたらお願いします。
1:00:07	規制庁カミデですと、この資料については最初に全般の話をする。
1:00:14	よりも、ちょっと個別で大きな点があるのでまずその話をしたいんですが、
1:00:21	7 ページのこの屋根トラスの記載がですね、そっち側として何を担保したいのかね、どういうことを設計として認めて欲しいのかっていうのが全くよくは
1:00:40	これはなくてですね、もう少しかみ砕いてどういうことを説明したいのかっていうふうに説明いただきたいんですけどよろしいですか。
1:00:56	日本原燃キョウダでございます。
1:00:59	今回こちらでお示したものの経緯となるんですが、鉄骨造の屋根トラスの部分については先行発電ドル沈降の発電発電のばらつきのほうも検討しているといったところで、当社としても同じようなものはないのかといったところでコメントを受けた。
1:01:18	ところがあります。前高圧連帯押しとしましては 2 次加工施設を構成するような部材になりますので、連携モデルにも取り入れたようなものとして、ばらつきの検討もされていると一方で当社としましては、このような二次格納施設を構成するような部材
1:01:36	ということではございませんので、
1:01:41	そういった観点で、当社としては鉄骨トラスの検討といったところはやらないでいいといったような趣旨のことをこのような記載をさせていただいております。
1:01:53	規制庁込みです。今言われているばらつきというのは、鉄骨の鋼材のばらつきなんですか。
1:02:05	日本原燃キョウダでございます。こちらのばらつきというのは、建家の
1:02:11	ただいまの RC 部分のばらつきとか、その鉄骨トラス部分に与える影響ということになります鉄骨造のばらつきといったようなところではございません。
1:02:26	規制庁カミデですまずその点がよくわからなくてですね、
1:02:32	具体的にどういう話なのかというと、
1:02:36	この屋根トラスをの鋼材を評価したいと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:42	いう時にその入力地震動の算定において、その間接支持構造的な建物のコンクリートの物性のばらつきを考慮したくない、そういうことですか。
1:03:03	42 キョウダでございます。
1:03:07	おっしゃられたような趣旨といったところになるかと思えます。
1:03:15	規制庁カミデです。まずその辺の言葉が
1:03:20	ちゃんとわかるようにしてください。今の言葉と口座にばらつきを見るのかなみ たいな感じなんですけど、そうではなくて、コンクリートなんだと思ってしかも屋 根トラス自体ではなくて屋根トラス評価するための入力地震動の算定だってい うこと。
1:03:37	であればもまずはそういうふうにちゃんと説明をするようにしてください。
1:03:45	日本原燃津田でございます。承知いたしました。
1:03:51	はい。規制庁カミデです。その上で
1:03:58	何ていうんですかね、コンクリートのばらつきを
1:04:03	控除しない理由後困り意欲を変わらなくて、
1:04:10	基本的にはコンクリート硬くなるほうで、そんなに厳しい話でもないし、
1:04:17	いうことで、通常通り、
1:04:21	実例先行例にならっている、評価をしてしまうレバー
1:04:28	今日はあれですよ。6 ページで言っているコンクリートの別建屋物性のばら つきを考慮しますっていうことと整合がとれて説明しやすいんだと思うんですけ ど、これを
1:04:43	7 ページのこの部分除きたいっていうのはどういう理由なんですかね。
1:04:57	少々お待ちください。
1:05:49	日本列島でございます。
1:05:52	そうですね検討としてはそのように、やった上では影響ないといったときのと ころを説明したほうがわかりやすいかと思えますので、少しちょっと更新の方で まして、適切な説明にしたいと思います。以上でございます。
1:06:12	規制庁カミデです。そうすると、この資料上はどうなりますかね 7 ページは、多 分これ工事会で説明する範囲になって、
1:06:23	不要なんですけど、
1:06:27	2 ポツ 1 のどこかにそういう缶
1:06:32	2 ポツ 1 の記載中直したほうがよさそうなところありますか、どうですか。今の記 載でも、
1:06:39	十分読めるって感じですかね。
1:06:52	ですから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:54	日本原燃キョウダでございます。6 ページ目の第 3 パラグラフのなおの鉄骨造の屋根トラスについてはといったような模糊パラグラフについて少し記載のほう修正させていただければと思います。
1:07:10	保育規制庁カミデサガワのなお書きで書いてるところを見ると、この部分なくなれば、上の記載に全部包含されると。ただ、上の記載で、本当はトラスも含めて書いてあるんだけど、その中から直で除きますっていうことなので、
1:07:28	名なくなくなれば必然なのかなと思いつつ、
1:07:33	何度か事実確認を重ねてきた経緯があるので、忘れずやりますっていうことを残していただいても特に構いませんのでなんでそのあたりは記載は検討ください。
1:07:48	日本原燃キョウダでございますが、端っこ指摘の点承知いたしました。
1:07:53	修正いたします。
1:07:57	規制庁カミデです。その上でちょっと全般的な話ですけど、
1:08:07	目次 2 ページのところ、次回以降で何を出すかっていうところが、さっきのトラスの話ここに多分出てくるんですけど、その他再処理施設の建屋とかで、
1:08:22	この話は出てこないんでしたっけ。
1:08:40	日本原燃強でございます。こちらの別紙 1 別紙 2 というふう今回の申請の建屋については期待させていただいておりますが、来次回以降についても、別紙 3 別紙 4 といったような形でどんどん等、申請の建屋が続いていくようなイメージで思っております。
1:09:01	規制庁カミデです。そうすると他の整理しようと同じように記載を並びをとって書いていただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:09:15	はい。
1:09:17	日本原燃キョウダでございます。
1:09:19	承知いたしました。
1:09:24	規制庁込みです。それ以外の 6 ページなんですけど、
1:09:30	一行空いて真ん中抜きを徹底っていうところで、ここの
1:09:35	結論も、先ほど減衰で話をしたようなところと同じなんですけど等に
1:09:44	発電所の審査実績を参考にするっていうことで
1:09:48	なんていうか、結果やってないからこっちもやりませんって結果の並びを取るんじゃないかって、そのプロセスの並びをとって欲しくて、当人がどういう理由でこういうしなかったのかということが最初にも一緒ですっていうことを書いてください多分調べていて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:07	一応よっての部分で書こうとしているんじゃないかと思いますが、そこがうまく書ききれてなくてですね、最後のところで結果だけ並んでいるような形なので、
1:10:20	こういう状況、うちはこういう状況で捨て等にもこういう状況でほぼ同じなので、同じた同じように考慮しない対応としていくということで、もう少しそのプロセスも一緒だよっていうところがわかるように記載を、
1:10:36	適正化をいただければと思いますがいかがでしょうか。
1:10:44	日本原燃教材ございません。ご指摘の点を承知いたしました。ええ。
1:10:50	東海第2の
1:10:52	状況当社としての状況がわかるようにした上で、どちらも頼んだ10乗キョウダといったところがわかるような記載にしたいと思います。以上になります。
1:11:06	規制庁カミデです。
1:11:09	後ですね私から一応最後リスク14ページのところで評価フローがついて
1:11:18	別にこのページで表現しなきゃいけないというわけじゃないんですけど、その機器側との繋がりをちょっと表現しているところがどこかにあればいいなと思ってまして、具体的には、
1:11:33	ばらつきを考慮した。
1:11:37	時刻歴なのか、
1:11:42	FRSなのかりファレンス沖側だから、時刻歴なんですかね、各建屋の各質点ごとの時刻歴っていうのがどこかのプロセスで出てきて、それは建物側に受け渡してますよってということだと思うんですけど、それは
1:11:59	きちんとどこかでわかるようにしておいて欲しいんですけど、イメージは、
1:12:05	伝わったと思うんですけど、どの辺で、
1:12:08	記載を入れればいいか。
1:12:11	今、今回はありますか。
1:12:15	本年ウラバヤシでございます。ええとですねまずばらつきを考慮した地震応答解析っていうところから、本検討スタートいたしますので、14ページでいきますと評価の開始のときにもうすでに機器側へ
1:12:30	時的なデータを使って評価をお願いするという。
1:12:35	こっから分岐する形になろうかと思います。
1:12:38	あくまで地震荷重とかそれ以外ってのは、この建屋の時に集計した荷重ですので、
1:12:44	スタートから分岐するのかなと思いますが、以上です。
1:12:51	規制庁カミデです。それはあれですかね、13ページでも一緒でもうスタートでその話はもう終わっちゃってるってことですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:21	規制庁カミデです。
1:13:23	13 ページの二つ目の枠からですか。ここからこのアウトプットを出せということですかね。
1:13:32	日本原燃の橋でございます。資産ようでございます。二つ目の枠でばらつき考慮した応答というものが出て参りますので、それ以降の分岐になろうかと思えます。
1:13:46	はい、規制庁込みですわかりました。そうであれば13 ページのほうにできたもんで、ここからどういう情報機器側に渡すのかというところがわかるようにしてもらえればと思えます。
1:14:06	すみません、名分の場所でございます。13 ページのところは、このフローの趣旨自体がばらつきの検討するときにどういう波でばらつきを評価というのちゆ
1:14:22	絞込みのフローでございましてええとまあやることは一緒なんですけれども、結果としては検討内容は14 ページのフローになりまして、この評価開始というところが、ばらつきを考慮したらええ時刻歴。
1:14:36	応答解析、地震応答解析というふうにちょっと詳細に記載させていただきまして、14 ページの表のところに分岐すると明示させたいと思えます。
1:14:48	はい、規制庁子店わかりました。その辺りおまかせしますので、
1:14:54	14 ページ適正化するならそれで対応いただければと思えます。
1:15:03	規制庁カミデです。とりあえず私のほうからは以上のほか規制庁がこれは特に事故ある防護お願いします。
1:15:13	規制庁ハバサキですが、ちょっと6 ページの先ほどのお話を聞いててもう1回ちょっと確認したんですが、結局、建家の実強度だったり、補助壁を考慮したばらつきの検討っていうのは、
1:15:30	されるんですか。
1:15:32	なんかさっきキョウダさんの回答が結局はしますみたいなそういうふう聞こえたんですけども、
1:15:41	4 号のウラボヤシでございます。今おっしゃっているところは鉄骨に関してというふうにご質問ということですが、それでよろしいでしょうか。きちゃうわけじゃRC CSRCの話ですよ。RCの実強度、それと補助壁を考慮した。
1:15:58	考慮することのばらつきです。
1:16:03	2 億円投資してございますけれども部分のRC部分に対してはこちらのほうの共同増加が見込める部分でございますので、こちらのほうの検討持つてくつか高齢の方はしないといったところですが、ただし、鉄骨造部分に関しては体力上昇した際に影響があるかどうかというところが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:22	先行サイトでも実績として検討しているのがあるのでその部分をやるといったところを先ほどキョウダとして回答した部分になります。
1:16:30	規制庁ハバサキです。今当初の案の説明で理解しましたが、6ページの下から二つ目のパラグラフの下から2行目、要は、実共同でやって歩い補助壁を考慮することは建家自体に対しては有利なんかもかもしれませんけれど、
1:16:49	機器配管系に関しては必ずしも雪有利になるとは限らないわけですので、結局はその地震応答解析としては、実施する。
1:17:00	という理解でよろしいですか。今6ページの下から2行目二つ目のパラグラフにはどこに4月としか書いてないんで、そういった方針的なことも見せ会議みたいですけどもあの店はどうされるんですか。
1:17:16	日本原燃キョウダでございますが、地震応答解析については実施した上で、
1:17:24	その上で建家側には影響ないといったところを記載させていただいてるようなつもりですが、機器配管系の評価につきましてはまたそちらの地域の方の資料にて、その取り扱いについて記載させていただければと思います。以上になります。
1:17:43	規制庁浜崎です。
1:17:45	下から2行目のパラグラフっていうのは重畳の話があって、最後の2行目のところに機器配管系については今後どうどこで示すと書いてあって、結局、別途機器配管系の評価においては、建屋の自治協のと、補助壁の
1:18:00	考慮っていうものはした上で、機械化の評価を行うばらつき評価を行うという理解でいいんでしょうか。
1:18:18	日本でもキョウダでございます。機器配管系につきましては、こちらの建屋のほうのばらつきを考慮した検討を行っているといったふうに考えてよろしいかと思います。以上になります。
1:18:32	規制庁ハバサキです。わかりましたちょっとですね、竹は構築物に関しては、実強度と補助壁の話って、当然、ゆりといいますか、大部上昇のほうにあったので、それは必要だっていうのはもう成功キョウダもそうなんですけど、機器、
1:18:49	配管系についてはどうなんだということをですね、ちょっとどこに示すだけではなくて、やはり考え方は先ほどこれを含めてですね、ちょっとそこはあるわかるように示すべきかというふうに考えますので、ちょっとその検討のほうをお願いしたいと思いますが、よろしいですか。
1:19:08	日本原燃教材ございません。御指摘の点、承知いたしました気体の方充実させたいと思います。以上になります。
1:19:18	違うわけです。とりあえず以上になります。
1:19:22	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:25	規制庁の瀧田です。すいません今あのですねやりとりの中でちょっと追加で確認させていただきたいんですけど、も複数の機器の評価というのは次回になるということだと思んですけど。
1:19:40	それで評価機器の評価に用いる床応答ですね、これっていうのは、その機器の評価をする段階で初めて出てくることになるんでしょうか。それがどの段階で出てくるのか説明いただけるでしょうか。
1:19:59	日本原燃の伊藤でございます。
1:20:01	床応答曲線についてですけれども、ばらつきを見てないものについては、とも第1回設工認のほうで添付させていただいております。
1:20:14	それとばらつきのあるものについてはつと今まで決定別のソックス目というふうに考えておりましたので、ちょっとここ次回というふうに整理しておりました。
1:20:24	以上となります。
1:20:29	規制庁の武田です。高利マストでは、
1:20:34	その時にばらつきを考慮した場合の具体的な解析の条件だとかそういったものも次回の段階で示される上で、床応答曲線もすいませんここ来次回という意味ですか。
1:20:49	すいません。規制庁カミデです。
1:20:53	まず床応答曲線が一
1:20:57	名第何回かって言うとそれは今回の申請前に話をしていたてもものが申請対象になるのであることは1回でしょうという話で、あの申請書にもFO-AMOXのFRSか持ってる段階乗ったものを申請されていると理解されてます。
1:21:17	その上で先ほどの伊藤さんの回答はよくわからなくてその考え方考えからするとですね、ばらつきを考慮したものが本当に設計に使うものであれば、それは第1回申請で話をしなきゃいけない事項だと思うんですけど。
1:21:36	その点いかがですか。
1:21:40	日本原燃の伊藤です。
1:21:43	そうですね。
1:21:45	おっしゃる通りでちょっと
1:21:48	ばらつきについては、設工認申請書ではなくて、補足説明資料ということで考えておりましたので、第1回では起電絡みの
1:21:59	そのほかないといったことで、起電は申請する第2回報でちょっとお出しするというふうに考えておりました。ただ例えば標準ケースについては建物1階で出しておりますので、ちょっと1階に含める方向で
1:22:16	点検検討は行いたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:20	規制庁込みですばらつき係数のFRSを設計に使わなきゃいけないかどうかについて、実態の機器の設計が終わらないとわからないってそういうことなんですかね。
1:22:36	日本原燃伊藤です。ですねばらつきの形成につきましては、標準的な隻床応答曲線できれ機器耐震の設計を行った後に、
1:22:50	両者の床応答曲線を比較してケースバイケースするとか、ちょっとそういったステップで作業しておりますので、実際機器の評価を1回やった標準ケースやってからというふうな流れになります。
1:23:09	規制庁込みです。まず標準ケースがあって、
1:23:16	それとまず配膳ばらつきのFRSのまずな波のスクリーニングをするっていう説明じゃなかったでしたっけまずはその波を比べてみて出ているかどうかというところで1次スクリーニングでしたよね。
1:23:31	日本原燃伊藤ではその通りでございます。
1:23:35	そのあとに影響がありそうであれば影響評価を行うと。
1:23:41	はい、そうなります。
1:23:43	はい。その影響評価については、機器の標準ケース基金の申請と同じ階の耐震計算書で今のところは別添なり何なりっていう位置付けで考えているっていうことですよ。
1:23:59	日本原燃伊藤です。その通りです。
1:24:03	規制庁カミデです。そうすると、その時にばらつきのFRSを申請書に出すのかわかっていうところまず整理してそれは先行炉とか実例があるんじゃないかと思うので整理していただいてその上で、第1回で、
1:24:21	どこまで示せるのかとまずはそのばらつきのFRS等を標準ケースのFRSのと重ね書きみたいなどころまでを補足でまず話をしておくのかとかですね、ちょっとそうそういう全体、
1:24:37	どうするかっていうところを整理した上で、
1:24:40	第1回で説明すべき範囲っていうのを考えて再度説明いただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:24:49	はい。日本原燃伊藤です。ちょっとばらつきの床応答曲線の考え方についてはちょっと発電炉等も見て、一度整理したいと思います。
1:24:59	以上です。
1:25:05	規制庁の武田です。あっちで見ませんかみさん補足ありがとうございます。
1:25:11	その他規制庁側から確認でございますでしょうか。
1:25:16	成長のキシノです。今ちょっとどう話出てました。起電11についての見通しを聞かせいただきたいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:24	切り合い関係については機電 11 に示すと 6 ページ下のほうにあります。いただいている最新のスケジュール表できる 11 の提出時期っていうのはまだ明確になってないと思うんですがこれいつぐらいに出せそうかっていう見通しがあったら教えていただけますか。
1:26:00	日本原燃伊藤です。少々お待ちください。
1:27:22	日本原電ナガサワでございます。
1:27:26	スケジュールにつきましてはですね今社内で調整を行っております、本日提出を申し上げる資料にですね汎用するべく、今検討続けているところでございます。以上でございます。
1:27:42	規制庁コサクです。今の話だと今日資料提示をする予定と
1:27:48	ただ、今日出だすスケジュール表の中にその部分の具体的なものを書く予定ということですか。
1:27:56	日本原燃の長さでございますそのように考えておまして、ただ今ですね、検討を続けているところでございます。少々お待ちください。以上です。
1:28:05	規制庁の古作です。状況わかりましたけど、今検討してるっていうところだとすると日付は言えないかもしれないですけどどういう状況かっていうのだけ教えていただけますか。
1:28:17	どういうものを大体どれぐらいのところで準備する予定とかっていう、
1:28:22	ぐらいは
1:28:23	お話しいただきたいんですけど。
1:28:28	はい。
1:28:29	荷揚ナガサワでございます。今ですね担当に確認しておりますので少々お待ちいただけますか。以上です。
1:28:40	規制庁キシノですんでちょっと確認いただいている間に、あと二、三ですね確認されることがありますので、進めますか。
1:28:49	まず 199 ページちょっとこれは細かいことかもしれませんが、表が二つあるうちの上の表示ですね、一番左に打設箇所として基礎と全体っていうふうに分けて書かれているんですんで基礎わかるんですけど、全体というのはおそらく基礎含め全体という意味かと思うんですが、
1:29:08	全体っていうのは、基礎以外にどういった部位を含むのかっていうの説明いただけないでしょうか。
1:29:17	多分構成するのっていうルール基礎と言われるものがほとんどだったと思って、ほかに全体といったときに何が含まれるのかなっていうのがですねちょっと読み取れないというかイメージもつかないので、ちょっとこの辺り御説明いただけないでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:32	日本原燃キョウダでございます。こちらにつきましては仰られます通り全体というのは基礎のみでございますが、こちらは何といえますか、表示としては、次回以降の建屋も見据えまして、基礎ですとか、／何回の食べ
1:29:51	あと少しそういうものも含めて全体といったような表示形式にしようというふうに考えたんですがおっしゃいます通り前については基礎だけですので、ちょっと記載のほうを見直したいと思います。
1:30:06	続きまして、わかりました。次回以降見せてもらう枠をつくったというそういうことかと思えますけど、今の御説明なので全体っていうのもすべて同乗ということになってしまって特別新しいデータはないということかと思えますんで、今回に限ったその全体と言っても、基礎そのものですよということがわかるようなことですね。
1:30:25	ちょっと説明として加えておいていただければと思います。
1:30:30	4年目に本年キョウダです。承知いたしました。
1:30:33	はい。続きまして245ページなんですけれども、
1:30:38	一番下の行で本資料では3コースとして24日のつか壁部分の最大応答せん断ひずみ指名するとあるんですが、ちょっと私が見落としかもしれないんですが、それどこに示されていますか、270ページに最大せん断ひずみとかありますけどこれ使う壁部分とあって、
1:30:56	表示されているんでしょうか。ちょっと表示されている説明されている箇所を教えてくださいませんか。
1:31:06	何遍もキョウダございません。大変失礼いたしました。今回差し替えのタイミングで少し抜けがありました。本来ですと要素番号7といったような部分で最大応答せん断ひずみ露呈たところ、追加させていただければと考えておりません。
1:31:22	結果としましては、
1:31:25	ひずみ値としては小さい値となっております。第1条0.7になるというところは確認してございます。以上になります。
1:31:34	既設の規定ですはい、わかりました。それは適正化のほうをお願いします。
1:31:39	ありがとうございますとIIがですね、341ページなんですけれども、
1:31:47	ここで補助壁の考慮による建屋物性のばらつきの設定という説明がありますが、ここで補助壁に対して考慮している地震力ってどういったものを考慮しているのかという説明が
1:32:02	なくて、実は前回のレビューの時もですね、同様の質問をしておりますというのは待とうに何かを多分参考して書かれているかと思うんですが、等にも同様の検討の中でですね、こういった

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:17	また検討の中で補助壁についてこの下期相談から連続して立ち上がってないので、あの事故方向荷重が負担しないで旋盤力のみ考慮しているっていうような考え方等のほうで示されているのに対して、最終ではどういう考え方ですかっていうのを前回質問したかと思えます。
1:32:37	前回の答えおそらく補助壁の影響、ばらつきとして幅広く見るために地震力を制限しないですべからく見てるっていうのはそういった趣旨の回答だったように思うんですが、ちょっとまだ今回説明を加えていないのでその辺りの
1:32:54	対応状況とあと今の私の理解で正しいのかも含めてちょっと御説明いただけますでしょうか。
1:33:02	日本原燃キョウダでございます。ご指摘の点についてなんですが、日の 10 ページ目。
1:33:09	こちら排気の選定条件といったところで記載しております記載させていただいておまして、今回の補助蒸気の剛性としては制限方向の地震応答解析モデルについてはせん断断面積を付加すると、また鉛直方向の地震応答解析モデルについては軸断面積を付加することで、そのばらつきが落として大きく見るといったようなことで、当社としては考えております。
1:33:30	こちら前文の共通の部分のところに書かせていただいております、工事開口全建屋についても同じような考えで進めていきたいというふうに考えております。
1:33:41	キシノスポーツわかりました。一番前のほうに確かに記載があります。
1:33:45	ただですね、これがこの 3 工場にも適用しているという御説明と理解しましたので、それで結構です。
1:33:56	はい。確認したかったこと、以上です。また先ほどの
1:34:02	固定の件ですか。ちょっとわかりましたら教えていただければと思います。
1:34:07	私から以上です。
1:34:12	規制庁の武田です。その他この資料につきまして、規制庁側から過去にございますでしょうか。
1:34:23	よろしいでしょうか。規制庁ハバサキです。すみません。
1:34:27	198 ページ、4B のばらつきの話ですので、御 98 ページの文章は、要はこれも海進液とか自重堂については評価式ませんという趣旨の文章書いてあるんですけれども、
1:34:44	ほんと、当然先ほど同様、機器側への影響ですね、事業部と実強度ですね、NPD 毀損のについては
1:34:56	考慮する方向になるかと思うんですがそれは耐震起電 11 のほうには、そういう趣旨の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:04	検討を行うということで、準備されているという理解でよろしいのでしょうか。
1:35:30	日本でナガサワでございます。ちょっと今の担当者と呼んでおりますので、基本的にはそういうふうを考えておりますが、正式には半年から答えさせます。以上です。
1:35:46	規制庁カミデですちょっとお願いなんですけど、
1:35:51	もう大分第1回の審査は進んできていてですね。
1:35:56	まとめなきゃいけないっていう段階に入ってきていて、そうすると、今まで以上に建物と機電の関係っていうところであとは基本設計方針との関係っていうところがあってそれぞれ
1:36:11	関係するのでその場でぱっと答えていただかないとヒアリングが進まないんです、上にいる方がすべてまとめてみている方が答えられるのであればそれでいいんですけど、そうでない場合は、
1:36:27	はわかる方をですね、ヒアリングにきちんと同席していただいて、あまり無駄な時間が流れないようにしていただきたいので今後よろしくお願いします。
1:36:42	日本原燃の長沢でございます。配慮いたします。よろしくお願いします。
1:36:54	規制庁タケダでは、先ほどのとに関しましては、答えられるタイミングでいただければと思います。
1:37:03	投信他形状側から確認でございますでしょうか。
1:37:09	はい。
1:37:10	よろしいですか、よろしければ、日本原燃から資料についての修正方針と、あと、開示情報の発言がないか確認をお願いいたします。
1:37:22	日本原燃、キョウダでございます。今回指摘いただいたコメントとしましては、梶子チャンスの取り扱いにつきましてRC部のバラつきが与える影響、検討といったところを実施するといったような形で、また四つ出していただきたいというふう考えております。
1:37:37	また評価フロー中に、町側への受け渡しといったところがわかるように示させていただくと、どう考えてますか。／重畳ケースの取り扱いについてですが東海第2と当社と状況を整理した上で説明を展開するって手のところ考えております。
1:37:58	誰と書かれるような予算が7の結果について抜けがございましたのでこちらのほうも修正させていただきます。
1:38:08	要は、町側のほうになるんですがバラつきのインフラFRSの取り扱いなどについても整理。
1:38:15	ということを考えております。
1:38:20	はい、以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:38:25	規制庁の武田です。ありがとうございます。副事象の発言はなしということでしょうか。
1:38:32	2ヶ月開示開示情報の追加ございません。
1:38:39	規制庁タケダです。はい、わかりました。
1:38:43	それでは文書についての確認以上になります。
1:38:48	それでは、次の資料の確認に進みます。次の資料が耐震建物の15になります。後者につきまして日本原燃の方から説明ありましたらお願いいたします。
1:39:03	日本原燃星野でございますし、耐震建物の15につきましては、前回のヒアリングでいただいたコメントに対して、修正を追記等を行ったものになります。主な変更点としては、耐震壁の塑性化に関する考え方について追記していただいた点と、
1:39:21	浅部の地盤バネに関して算定式の記載を見直させていただいたところを御確認いただければと思っております以上になります。
1:39:31	規制庁の武田です。ありがとうございます等ではこの手法につきまして規制庁側から確認事項ありましたらお願いいたします。
1:39:39	はい。規制庁ハバサキです。今もお話ありました展開してきました上部構造の拘束の話、6ページですね、一番下のパラグラフが多い今回A中期5室もありますので、加工文章を読むと、基本的には回答。
1:39:58	日本海溝部での扱いの形の表現になってますんで、前回私の方からコミットしたのは、Ssの地震によって、
1:40:13	悲劇が塑性化した場合、その剛性低下を基礎版の拘束条件として与えるAバイオそうですね
1:40:24	はり要素の剛性としてどういうふうに評価するのか、考慮するのか、争点についての回答を求めていますけれども、結論的に6ページの最後の文章は塑性化の影響を考慮せずと書いてありますが、これは
1:40:40	どうして考慮しなくていいのか。
1:40:42	説明してください。
1:40:47	はい。
1:40:55	日本原燃保証でございます。今ご指摘いただいた点に関してなんですけれども、こちらの6ページに記載しております。開口部があるところと、耐震壁が低拘束しているところ、その剛性差が大きいというところで、開口後に変形が集中するというので、
1:41:12	基礎スラブ全体としては県と検定比としては厳しい方向になってくるのかなというふうに想定しておりますので原則として大方針としては、耐震壁の剛性というのはまたせよととしてモデル化をするというところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:28	現在は考えております。以上になります。
1:41:33	規制庁ハバサキです。事業者等の規制の見解ということでは今聞きました。実際じゃあ拘束条件な弱まるのが本当に安全側に評価になるのか。
1:41:49	それについて説明をしてくださいということ求めたわけです。これ実際課長の機能が7もうとか等々にでも同様な検討は実績があるんですけども、そういった検討を見た上でこういった結論になっているんでしょうか。
1:42:21	日本原燃申し上げます少々お待ちください。
1:42:57	におけるガシでございます。今ハバサキさんからご指摘の点でオオオカの柏崎伊藤のところでは状況的にはいろいろ鉄というふうに思いますのでちょっとそちらのほうのやり方を踏まえたところで、頂部が新規貸出時に与える影響といった部分は検討の方さしていただきたいというふうに思います。
1:43:18	じゃあだけです。そういう先行で実績もありますのでですね。ただ赤ちゃんの場合FEM三次元のモデルを使うとやっていますが、その例がこちらから、それをしてくださいと安定していませんけれどもですね、そういったものを参考にした上で、
1:43:34	現在としてはどういった方向考えるのかということの説明のほうにお願いしたいと思えます。
1:43:40	よろしいですか。はい、日本にどうしてございます。何らかの方法のところではようど非線形化の与えるその拘束条件の違いの影響といったところの考察をさせていただきたいというふうに思います。
1:43:52	規制庁規制庁発電すいませんコサクですけど、今ハバサキのほうから品等いっぱい伝えることになってしまいましたけど、そもそもこちらが言わなきゃそれを見ないってということではなくて、
1:44:08	事前に原燃の中で電力支援を受けてやっていくという体制を構築されているはずでなぜまだそういうことができない。
1:44:22	ですかね。
1:44:37	はい入院連動してございますその上で当然電力さんの支援の方いただいておりましてそういう今コサクさんの御指摘のあったようなところをまず中越によりてるところっていうところは展開しているところでございますけどもこの部分に関しましてはちょっと
1:44:54	中身の部分での突っ込みが足りなくてちょっと大変申し訳ありませんでしたちょっと今後につきましてもこういった部分に関しましてご指摘いただいている部分でございますのでしっかりと検討を深めていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:08	規制庁コサクです。何での答えになってないんですけど、なんで支援を受けられてないんですか、或いは支援をしている方は何でそういう状況ができないんですか。
1:45:38	400トガシございますこちらの点の部分に関しましてはもちろん本当にちょっと
1:45:47	電力支援の方にも当然見ていただいている部分でございましたけども、ちょっとちょっと私どものほうのもとの考え方っていったところがございましてその部分でちょっと今回としましては回答のほうを、こういった形のところでですね、
1:46:03	していたといったところでございますので、その部分でもう少しその変更を踏まえたところでの検討の深堀といったところが本当に足りてなかった部分でございまして時介護といったことがないようなところでしっかりと対応のほうして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
1:46:20	規制庁コサクですけど、3ドメインですから4段目ですかね。
1:46:25	回答になってないんですけど、なんで足りなかったんですか。
1:46:40	規制庁コサクですけど、申請されてからかれこれこれまで漠と半年って言ってきましたけども、9ヶ月になるわけですよ。
1:46:51	その間ずーっとこういう話をしましたよね。
1:46:55	毎回同じ回答なんですけど。
1:46:59	もうあれですかね認可して欲しくないってことですかね。
1:47:04	そちらとして進歩していただかないと。
1:47:08	最終的に認可まで辿りつかないので、
1:47:15	結局我々チェック機関ですか。
1:47:20	であれば取り下げをまずしていただきたいということになっちゃうので、
1:47:25	なんでかっていうのを言えない限りは改善できないですよ。
1:47:37	はい。日本医療等はCです。
1:47:42	ちょっと繰り返しのところになってしまうところがございまして上部構造の拘束の部分に関しましては
1:47:56	確かに先行さんでの実績。
1:48:01	部分ですね
1:48:04	当社の電力支援者との少し調整が体系いなかったといったところだというふうに思っております。
1:48:16	私ちょっとこの部分が本当に私どもとして少しやはり少し思い込みといったところがあって、対応していた部分もございましてちょっと突っ込んだ電力さんとの御趣旨議論といったところできていなかったといったところでございますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:32	私がちょっとここはすいません、私の少し認識不足といったところを踏まえましてその部分でもう少し突っ込んだ検討を電力さんとするといったところが、私自身として恣意的なかつたという部分がちょっと至らなかつた部分として見た部分だというふうに思っています。
1:48:50	規制庁コサクですけど、
1:48:55	ここまで話をしてもうなんでも出てこないっていうのは、
1:48:59	或いは今後こうすることで、確実にチェックができるという案が出せないっていうのは根本的な問題ですよ。
1:49:11	単純に言えば、少なくとも我々から指摘を受けた事項については、何らか他電力先行で議論されているはずだと。
1:49:20	ということがあって、
1:49:22	それについて先行各社に問い合わせる
1:49:27	それぞれに対する支援者に問い合わせているんですけど。
1:49:30	問い合わせるで並行して各社の補足説明資料なりで、
1:49:38	該当する場所がないかをチェックをする。
1:49:42	なりというのは当然やっているはず。
1:49:44	で、
1:49:45	やってないから、気づかないんですよ。
1:49:48	言われてるにもかかわらず、本来は言われなくても、みずから最初にやっておいて検証して、
1:49:55	対応するというはずなのに最初にもやっていない、言われてもやらないと。
1:50:00	いう状況なんじゃないですか。
1:50:08	はい。日本の見通しでございます。まさしく今補足さんから御指摘のあったところで、ちょっと最初の部分の取り掛かりの部分に関しては至らなかつたといったところだと思いますので、本来であればこちらのほうを御指摘いただいたところに関して、やはり今ほどの差がおっしゃったところの
1:50:26	やはり、当然他の電力に問い合わせをしたりですね他の発電所の中でどういった検討しているのかっていったところに対して、当社の同じ事例等比べまして対応関係たところをしっかりと調整して今回の回答に結びつけるべきところがですね。
1:50:45	その部分の設定といったところがまだなされていなかったといったところが、やはりこういった部分で露出しているんだというふうに思っております。まさしくを何度も改善するといったところを申し上げていながら、その部分で同じような形のほうですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:01	お手を踏んでいるといったところでございますので、ちょっといま1度ですね今回はちょっと経企させていただきましてしっかりとその部分での対応といったところが
1:51:14	浸透しているような形のところで
1:51:17	気を引き締めてですね対応のほう図っていきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。
1:51:22	規制庁補足です。よろしく願いします。私も毎回言う羽目になってるので。よろしく願いします先ほどカミデの方も言ってましたけど、ここまで来た状態で最後きっちり詰めていただくということなので、
1:51:39	今言っていたように、この機会に一新して対応いただかないと終われせつかくこんだけ時間をかけてるにもかかわらず終わらないっていうのは非常に不毛ですのでよろしく願いします。特にそういう状況で続いてきたっていうのは結局、原燃が
1:51:56	詰め切ろうと自分たちで考えようっていう意識が
1:52:02	まだ、浸透してないからだと思うんですね。
1:52:05	それですと根本的に力量アップに繋がっていかないので、これを機にといったところをそこまで含めてしっかりと考えていただきたいということと、
1:52:16	これまで私も何度も苦言を申し上げているのは、支援を受けるとかっていう時にただメールで
1:52:23	資料を投げるだけ回答が来なかったら意見がないものと思うとかっていうことではなくてですね。
1:52:29	ちゃんと案件案件を話をして、
1:52:33	しっかりと聞き取ってへ確実に状況把握して対応すると。
1:52:39	いうプロセスをしっかりと作らないと結局靴だけになってしまうということなので、そのあたりも含めまで含めてマネージャーとしては、
1:52:50	先ほど状況っていうのはこうして対応いただきたいと思います。以上です。
1:52:56	はい、日本原燃のトガシでございます。今ほどのコサクさんからいただきました御指摘号棟というふうに思っておりますので、ちょっと
1:53:05	この基金たところで大変遅い時期ではございますけども私自身もう一度ですね認識の方を新たにさせていただきましてしっかりとですね下のものにもですね、そういったものの認識っていったところの重要性といったところでですね、もう一度浸透させるような形のほうでしっかりと対応のほうして参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。
1:53:37	規制庁コサクです。ハバサキさんほか途中で切っちゃいましたけど、よろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:43	規制庁ハバサキする内容のほうですね 10 社の方でしっかりと時開放せ、説明の方をしていないというのがあります。以上です。
1:53:57	はい。
1:54:00	規制庁タケダです。その他の資料につきまして、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:54:10	もうよろしければIAEA修正方針についてと、あとはマスキング両方の活動はないか確認をお願いいたします。
1:54:22	日本原燃補修でございます。ご指摘修正方針としましては、ご指摘いただいた耐震壁の非線形化というところに関しまして、先行事例をランチとって検討を進めていきたいと思っております。それした結果を何らかの形でこちらの資料のほうを追加させていただきたいと考えております。
1:54:41	不開示情報についての発言は特にありませんでした。以上です。
1:54:47	規制庁の武田です。ありがとうございます。
1:54:51	それでは次の資料の(2)に進みます。
1:54:55	次の資料は耐震建物 16 ですね、こちらの資料につきまして下のほうから説明をお願いします。
1:55:06	あ、すみません、原電さんはですけど、今の建物の資料に入る前に先ほど御指摘あったといいますばらつきに対する綺麗側の対応というところについて回答させていただいてもよろしいでしょうか。
1:55:20	はい。お願いいたします。はい。
1:55:23	ばらつきの対応というところでき電の今回の対象施設については冷却とBというところになるんですけども、その前にですね基本方針の案とヒアリングをやっている中で、コサクさんのほうからちょっとコメントいただきました。
1:55:38	それについては何かっていうと別添と添付って何なんだっていうところをちゃんと整理しなさいと、それに基づいて、どこに出すほかっていうところを整理しなさいという宿題をいただいております、そこについて今整理してますんで結論から申していきますと、ばらつきっていうものはもちろん添付の中で示しますということになってきて、
1:55:57	店舗の中の示し方としましては、まずは
1:56:02	FRSの拡幅店舗っていうことをやってございますと、そてそれともう一つとしまして、ZPAのところのがに割り増している 1. 二倍している 1.2ZPAを用いてますというところで、この中でばらつきを見てますよっていうことを説明していこうと考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:20	それに対しまして実際にその拡張店パート 2 割り増しで見れているのかっていうところを本当冷却塔のばらつきと重ね合わせた上で、そこが収まってますよう、おさまってませんよっていうのを補足説明資料の中で見て、
1:56:36	確認説明しようと考えてございますと、それを超過をしまして、本当に
1:56:42	基準適合性を示せない場合は、調査評価をもちろんやるということで整理してございますと、これらの本当今を私が述べました考え方につきまして新たに直し直します別紙対応の中ですべて考え方フィードバックかけた上で、
1:56:58	説明しまして最終的に冷却塔の説明につなげるということを計画してた。そうなったときに冷却塔側の提出予定っていうところにつきましては、
1:57:10	日本原燃の石橋です。冷却塔のばらつき、海進起電 11 番につきましては、今資料の提出時期を 9 月末と考えてございましてええとまあ正確な日にちで言いますと、271 目標に今提出をさせていただこうかなと考えてございますか。
1:57:30	以上です。
1:57:31	日本原電サガワですので、別紙対応の提出を来週から準備していきまして、123 っていう説明を来週一応やりまして、23 とか O22 に確か設定してます別紙の 4 号対応というところを 272829 というところで計画してございました。
1:57:51	なので、先ほど申しましたばらつきに対する考え方っていうところを述べた上で、補足説明資料につなげたいということを考えていたっていうのが綺麗側の対応になってございます。以上です。
1:58:09	規制庁タケダですかありがとうございます。この倒壊等につきまして規制庁側からコメントございますでしょうか。
1:58:26	規制庁ハバサキです。ちょっと先ほど 4 と機器側でのばらつきを考慮した地震力の話ですけれども、4B 基礎の実強度の
1:58:40	した場合についてもばらつきとして扱って機器側の評価では扱っているという理解でよろしいんですか。
1:59:07	AMEX、
1:59:09	日本原燃しましてすいません、いつ、今ご指摘いただきました件はその通り、Point ご認識ご指摘の通り実施してございます。それもにつきましてです耐震注 1 堆積で十一番のほうで示すということで考えてございます。以上です。
1:59:25	日本原燃サガワで少し補足させてください。これ前も何度か話させていただいてございますけども、機器側というのは、結局受け手になりますので建物側で実施してきて、機器側に提示あったものはそれを、それに対して検討した上で影響ないことを示すっていうのが、
1:59:43	ばらつきに対する対応かなというところで今整理しているところでした。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:49	規制庁ハバサキです様々そうじゃないんですよ。実強度に関しては、4 匹層はやらないんで。
1:59:57	建屋あの構築物を評価しませんっていうのは、建物の 11 の結論なんですね、でも実際機器側には影響があるでしょうだから来て 1110 ではやるんですねと いうことで確認したわけなんです、
2:00:09	建屋までやらないけれども、基地側ではやりますっていうことに関してですね、 確認したんで、ちょっと先もいろいろそれをやはり建物のほうでも何らかそういう 表現があったべきかなというふうに思いますんでちょっと事業者の方ですね
2:00:26	ちょっと検討して参りたいんですけども、今の建物で 1 ではそういうところが時 で 11 に示しますとしか書いてないんでわかんないんですね。
2:00:35	ちょっとそこは今検討してください。以上です。
2:00:40	日本原燃さんあれすいません建物 11 の結論のところ自分理解不足で申し訳 なかったです。今のハバサキさんの御指摘に対しましては建物側と本当に冷 却塔見てる主管部と調整した上でどのように示すかっていうところを、別途回 答いたします。以上です。
2:00:57	出ちゃうわけです連携をしっかりとお願いします。以上です。
2:01:02	規制庁の古作です。今の束付けた連携って言うていただいたのは、関連する 図書はちゃんと建物側だけじゃなくて聞いてんがもうにもシェアをして相互にち ゃんとリンクされているのか。
2:01:18	ていうところをちゃんと意見をもらうというプロセスを入れてくれということす のでよろしくお願いします。
2:01:26	受け手がもうまだそこ見ててもらってないんだけどというようなことで突っ込ん でいただくと。
2:01:32	ということで相互にしっかりと意識をして対応してください。
2:01:37	はい。検査です。建家内のところっていうところについてはしっかり連携してま して、そこに対してもコサクさんから指摘ありました通り売却とBのところ、自分 の関与薄くなってございますのでそこは同じように関与してってんと。
2:01:53	御指摘受けないように対応したいということで考えてございます。以上です。
2:02:06	規制庁の瀧川です。
2:02:08	よろしいでしょうか。
2:02:11	よろしければ、資料の確認の方に戻ります。
2:02:17	次の資料が耐震建物 16 ですね、こちらのシェアにつきまして下のほうから説 明ありましたらお願いいたします。
2:02:27	日本原燃保証でございますね耐震建物 16 につきましても、前回ヒアリングで いただいたコメントについて修正を反映したというものになっております。主な

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	修正点としては、各建屋の別紙についてですね、受振過剰以外の荷重というところで積雪荷重についての入力の方法というところの文章で追加させて、
2:02:47	いただいたというところになっております。以上です。
2:02:53	規制庁の武田です。ありがとうございます。には所につきまして規制庁側からここにありましたらお願いいたします。
2:03:01	規制庁カミデです。今説明あったように積雪荷重の話が前にあるのに、後ろになかったのという話で 12 ページに反映されたと。
2:03:14	いうことなんですけど、前というのが 5 ページですね、今度 5 ページ見ると、積雪荷重及び浮力っていうことで江府力ってというのは、新たな登場人物が出てきてそれがじゃあ 12 ページのどこに入ってるかっていうと、
2:03:30	またなくなっているんですけどその点どうなってますかね。
2:03:40	日本原燃星野でございます。基本的に別紙に記載している説明を記載するものに関しては少し建屋ごとで違いがあったりですとか共通のところから漏れてくるようなところに期待して追加説明をするといったような位置付けでの記載をさせていただいています。
2:03:57	風力に関してはですね基本的に共通で基礎スラブ一面みへ一律で等分布荷重としてといったような形で書かれるというところでも特に特段別紙としての説明も必要ないかなというところでシニア記載していないというところになっております。以上です。
2:04:14	規制庁カミデです。
2:04:17	収支から、この資料の趣旨からすると、その辺はきちんと書くようにしてください。
2:04:25	21 ページの 12 ページのところ項目を出して今説明があった内容を入れるようにして下さる図まですべて起こす必要はないんですけど、そういったようお願いいたします。その上で確認なんですけど。
2:04:40	基本方針との対応で、
2:04:43	この浮力ってのがどううたわれているかなんですけど。
2:04:48	地震と組み合わせる荷重とシステム動圧とか水圧って話はあるんですけど、水圧の中に浮力もいますってそういうことですか。
2:05:09	日本原燃スガワラです。そうですね考慮する荷重として水圧というところでは項目としては挙げておりますので、その中で、考慮はしているという整理でございます。
2:05:25	それから基本方針の中で隻を地下水位に応じた、その水圧を考慮するというところで記載もしておりますので、最終的に

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:40	各建屋の経営地下水に応じて浮力を考慮していくというところに下流のほうに流れていくという成果と考えております。
2:05:51	規制庁込みです起こりますと一応つつそういう水圧というのは速報から来るものと下から浮き上がってくるもの両方含んでいると。その時に速報からの据えつけ動水圧で見たりすると思うんですけど。
2:06:08	浮力の部分の水圧っていうのはどういう言い方になるんでしたっけ。
2:06:23	日本原燃のスガワラです。浮力につきましては当等分布の系統一律の荷重として与えるものとしております。
2:06:37	規制庁、五味です。その場合、あれですか速報速報の水圧と取り扱いが違っていてことなんですかね、あの建物に対して、
2:07:02	規制庁カミデです。そういったもありますか基本設計方針で行ってどう水圧やスロッシングみたいなもので、建物のその地盤からの水位乙っていうのは、どちらも頭分布で与えてるってそういうことですかね。
2:07:16	はい日本原電スガワラです。はい、おっしゃっていただいた通りかと思うんですけども地震時の動水圧につきましては、そこをからの水圧として別途考慮するものがあるんですけども、静止。
2:07:33	静止状態での水圧という観点では浮力と考え方は同じなのかなというふうに考えております。
2:07:45	規制庁カミデです。風力については、
2:07:50	そう。その場合、やっぱり浮力等、
2:07:54	速報の
2:07:57	動圧というかそういうやつというか、コア取り扱いが違っていることになるんですか。
2:08:14	Nスガワラです。地震時の同水圧っていう点で速報からの数やIIはその点で異なっているということかと思えます。
2:08:30	はい、規制庁カミデです結果が異なっているのはわかったんですけど、なぜそれでいいかというところまで説明いただきたいんですけど、どうよう考えなんですかね。
2:08:55	日本原燃の投資でございます。基本的にまず建物の側面からかかってくる圧力に関しましては同水圧という形のほうで基本的に動圧等を含めた形のほうで評価して参ります。そういった意味でいきますと、側面からどう扱っていた部分に関しましては、
2:09:14	推力起こった部分の増設をして、
2:09:18	対応してくるというふうに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:20	ぜひ取ります一般浮力はこうしたから工場長上がってくる静止圧みたいな、20ページになってくると思いますので、こういったところ、かかる。
2:09:32	位置付けていたところでは、
2:09:35	違うというふうに思っております。
2:09:39	はい、規制庁込みです実際にその地震加速度みたいなものを地震時の家族度で、その荷重が増分するかっていうことを考えると、風力が一いきなり上がるってことはあまり関係現象としてはないんだと思うんですけど。
2:09:56	その辺りですね、
2:09:59	この資料を荷重をどう入れるかって話をするときに、合わせて説明を入れて側面はこう扱います。空力はこう扱うということできちんと書き下していただければと。
2:10:17	思いますのでよろしくお願いします。
2:10:31	日本のトガシでございます整理させていただきます。
2:10:36	規制庁カミデです。私のほうからは以上です。
2:10:42	はい。
2:10:44	ちょっとタケダです。そのまま規制庁がこれはこの資料について確認ございませんでしょうか。
2:10:58	よろしいでしょうか、よろしければ、日本原燃の方から資料の修正方針と深い情報の発言がなかったか確認をお願いします。少々お待ちください。
2:11:54	鎖線日本原燃星野でございますねと対応方針としましては、御指摘のありました。風力に関しまして、別紙のほうにも記載を追加するといったところとの御指摘のありました扱いの違いというところもわかるように記載を追加させていただこうと思っております。
2:12:13	また濃い事項についての発言は特にありませんでした。以上です。
2:12:21	規制庁タケダです。ありがとうございます。
2:12:24	それでは、次の日の囲みに進みます。
2:12:28	次の資料が耐震建物の17ですね、こちらの資料について、日本原燃のほうから説明をお願いいたします。
2:12:37	日本原燃の杉田でございます。耐震建物17につきましては、前回のヒアリングで特にコメントは学変更点としましては、直下の応答結果を反映させたものとなっております。以上です。
2:12:57	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料につきまして、規制庁が行う確認ありましたらお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:21	すべてのキシノです。ちょっと1点確認なんですけど、資料の12ページとか16ページに表が載っているんですが、表の右半分はハッチングということで精査して次回以降に示しますとなっておりますんですけど。
2:13:37	表の左側に建物の名称だったり、建物構築物の名称というのは発注かかっていないんですけども、
2:13:46	一方でこれのスタートラインとなっていると思われる表が5ページから9ページに持ってて、これは建物構築物名称も含めてハッチング全部かかっているんですが、
2:13:58	12ページは16ページの表っていうのは、あたかも構築物っていうのも、今後精査しますということで発注かかるという理解でよろしいのでしょうか。
2:14:18	日本原燃の杉田でございます。キシノさんのご質問定期の通りですねこちらの
2:14:29	12ページ目のほうですね、こちらの建家名称につきましても次回で生成したものの。
2:14:37	経営層を示し閉めしますので、こちらハッチングすべきであったと考えられますので、こちらハッチングをかけたいと思います。以上です。
2:14:53	注水16ページの表も同様という理解でいいですか。
2:15:01	はい、16ページも、
2:15:03	こちらについてについても
2:15:08	建屋名称についてハッチングをかけたいと考えております。
2:15:13	以上です。
2:15:14	規制庁キシノです。わかりました。対象とする建物等についても、今後次回以降ですか。精査した上で改めて示すということで、理解いたしました。そうしますと10ページのですね。
2:15:29	aポツの下から二つ目のパラグラフになりますか。
2:15:34	込ま兵庫見込んでこの表よりこれこれを選定するっていう結論めいた文章になってますけどこれも
2:15:43	現時点での仮評価というものならないんですかね、これについても記載を見直すという理解でよろしいですか。
2:15:52	日本原燃の杉田でございますが、こちらにつきましても次回、建家等を精査する中でこの記載というのは、
2:16:03	変わってくるものと考えております。以上です。
2:16:07	です通しますとこの記載っていうのはどういふふう修正される予定なんでしょうか。
2:16:25	日本原燃の杉田でございます。こちらにつきましては、次回で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:32	建家が選定される中で変更されるんですけども、それちらがわかるような注記を
2:16:43	追記したいと考えております。以上です。
2:16:47	わかりました。それは 14 ページのaポツの文章も同様ですかね。
2:16:55	ガラス固化体貯蔵建屋B棟代表として検討するとありますけどこれも同様に工事課で見直すという注釈は要するというそういう理解でよろしいですか。
2:17:03	日本原燃の杉田でございます。その理解で
2:17:08	修正をいたします。以上です。
2:17:11	規制庁近接はいわかりました。では適切に修正のほうをお願いいたします。私から以上です。
2:17:20	規制庁タケダですねそのばこの斜面について規制庁側からここにございますでしょうか。
2:17:34	よろしいでしょうか。
2:17:37	よろしければ、日本原燃の方から修正の方針等F限り情報の発言がなかったか確認をお願いいたします。
2:17:47	日本原燃の杉田でございます。
2:17:51	修正項目につきましては、12 ページ目と
2:17:56	14 ページ目につきまして、建家名称にハッチングがかかっていないんですけども、こちらハッチングをかけまして、指定またはこれらの建屋の選定理由の記載について、次回で変更となることを注記で追記したいと考えております。
2:18:15	またハッチングに関する啓発はございません。以上です。
2:18:23	と思います。成長させて規制庁カミデ座のハッチングだったり工事高次会で変わるっていう説明を書くっていうのも駄目ではないんですけど、第 1 回申請としての説明で不要なのであれば、
2:18:39	取ってしまうっていう選択肢もありますし、ほかの説明資料、補足説明というのは多分そういう対応をしているんじゃないかと思いますので、全体並びを見てどうするか整理いただければと思いますので、よろしく願います。
2:19:10	日本原燃の杉田でございます。先ほど神野さん、カミデさんからのご指摘について総合的に資料の整合を図りまして、検討させていただきます。以上です。
2:19:33	規制庁の武田です。
2:19:36	ありがとうございます。
2:19:38	それでは大変だつて物柔軟確認以上となります。
2:19:44	これで本日予定していた議題としては以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:50	規制庁側から連絡事項もしくはまでに担当者の確認事項等ございますでしょうか。
2:19:59	規制庁の土野です。最後まで説明あったの。
2:20:03	竜巻防護設備の基礎の
2:20:07	構造強度っていうのはどのような状況なってるか、今後どのように進めていく予定価格っていうのはきちんとしていただけますでしょうか。
2:20:20	日本面ナガサワでございます。ごめんなさい。飛来物防護ネットの件でございますでしょうか。
2:20:27	ちょっと別の基礎の検討の点です。
2:20:31	今液状化の評価が日本原電ナガサワでございます。今液状化の評価がですね論点かと思ひましてこれについてはですね、前回の審査会合でも見直しはお示したものを具体的な評価方針評価ないように、
2:20:51	続いて宿題が残ってるという認識でございます。まず我々としてましてはですね評価のパラメーターマトリックスをどうしようかどうかというところを今検討しております、来週早々にですねその辺のパラメーターをお示した上で、
2:21:11	具体的な評価解析で入っていくというようなスケジュールを考えてございますが、評価結果につきましては今月末までにお示しできるよう準備を進めてるといところでございます。以上でございます。
2:21:26	一つの例です今ちょっと比べ立てと来週早々一番話なんですけれども、表現の説明というのはいつぐらいの図面のヒアリングは行ってきそうなんでしょうか。
2:21:39	次のナガサワでございます。パラメーターの設定方針につきましては、来週早々ヒアリングしていただけるようには準備を進めているところでございます。よろしく。
2:21:50	それからですね、このパラメータの設定を加えてその解析の手法ですとか、そういった形のものの情報っていうのを、ヒアリングで説明していただけるという理解でよろしいでしょうか。
2:22:02	人間の者でございます。さようでございます。
2:22:07	一つです。来週ヒアリングは確保しました。一つ、
2:22:17	規制庁のタケダですねと今の話で結構今月末ということなんですけど、これは代表は、結果ということよろしいんでしょうか。
2:22:28	4億円ナガサワでございます。今検討中でございますが有効応力解析につきましてはですね13%をやった上で、その結果代表を選定をしてできないかというところを検討するという予定でございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:52	規制庁の武田です。この先は 13/全部やってそのうちの代表が 1000Kを設定を行って、今月末ということと理解しました。委が正しいですか。
2:23:06	対人間ナガサワでございます。今そういうことができないか検討を進めているところでございます。以上です。
2:23:11	性状タケダです。これました。ありがとうございます。
2:23:17	施設です。すいません、あのときのヒアリングを受けなんですけれども、資料は幾つかそれに予定でしょうか。
2:23:25	日本原燃長さでございます。ごめんなさい、社内調整中でございます改めて回答させていただければと思います。なるべく急いでですね提出できるように、早目に提出できるように調整をしたいと思います。以上です。
2:23:41	一つ目です。支筋漏れ全くなって、ただ、
2:23:47	実は効率の結果が決定今回結果前なんでそう書くものなんですけど、地方のんとシミズ思うなんでその手動なってるかとかパラメータを選定するときどういう仕組みになったのかという仮定の含めた説明をしていただきたいので、十分肝変状は盛り込んだ資料をつくり込んでいただいて提出していただければと思います。
2:24:07	安定かつ我々が確認する時間っていうのがあれば直義というふうに考えておりますのでよろしくをお願いします。
2:24:15	日本原燃のナガサワでございます。工夫をさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。以上です。
2:24:26	規制庁タケダですねその他成長が確認事項ございますでしょうか。
2:24:35	日本原燃の方から何か連絡事項等ございますでしょうか。
2:24:43	日本原燃ナガサワでございます。特にございません。以上です。
2:24:49	規制庁タケダです。わかりました。それではよろしければ本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:24:58	ありがとうございました。こちらました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。